

改善報告書

令和2年7月28日

1. 大学名：東京福祉大学

2. 認証評価実施年度：平成29年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○通信教育課程の全学部学科が、定員充足率0.5倍未満である点は改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

学生数確保の方策として、本学の中長期計画（平成27年4月1日～令和2年3月31日）において、「出願方法の利便性や学習環境の整備、教育方法の多様化を検討し、学生確保のための諸方策を進める。」と定め、出願方法の利便性向上を目的として平成28年入学の科目等履修生よりインターネットを活用したWeb出願を可能とし、平成29年度入学からは正科生も含め、全ての出願においてWeb出願を可能としている。また、学習環境を向上させるため、平成28年9月よりインターネットを活用した学習支援システムである「TUSW-C.E.Web」を開設し、スクーリングの受講申込みや各種証明書申請等、インターネットから事務手続きをできるようにしている。さらにオンデマンド型スクーリングについては、令和2年3月31日までに福祉系講義科目を中心に合計8科目を開講し、教育内容の向上に努めている。

引き続き、新規中長期計画（令和2年4月1日～令和7年3月31日）では、「社会人等が学びやすい学修環境の整備として、オンデマンド授業科目の追加、インターネットを活用したレポート提出等の仕組みの導入を目指し、通信教育課程のWeb履修システムの一層の充実を図る。」と定め、オンデマンド型スクーリングは、既存の福祉系講義科目に加え、心理・教育・保育系講義科目を中心に、新たに8科目の新規開講を計画し、学習環境の利便性について一層の向上を図り、学生確保に努めていく。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

- ①学校法人茶屋四郎次郎記念学園 中長期計画（平成27年4月1日～令和2年3月31日）抜粋
- ②学校法人茶屋四郎次郎記念学園 中長期計画（令和2年4月1日～令和7年3月31日）抜粋
- ③東京福祉大学 通信教育課程に関する規程 新旧対照表（令和2年4月1日施行）抜粋

以上